

新年度の始まりを目前にした3月末、セイコーウォッチ株式会社の本社へ卒業生の庭崎紀代子さんを訪ねました。女性管理職として取締役執行役員を務めるだけでなく、広報宣伝部長として海外出張も多く、「毎日がエキサイティング」と語る庭崎さんにお話を伺いました。その中で見てきたことは、いつでも物事を前向きに楽しむ気持ちと、「人」を通して商品を伝えていくことの面白さでした。

◆楽しかったから、ここまで来た

この会社を選んだのは社風が良く、女性が働きやすかったからです。今でもその印象は変わりません。初めは宝飾事業の商品企画に携わり、輸入から営業・広告作成まで手がけたことで、ものが売れていく仕組みや、お客さまの反応が手に取るようにわかりました。

その次に異動した腕時計事業はいわゆる男社会。それでも工場に足しげく通い、製造者と信頼関係を築くことでものづくりの思いにもふれ、それまでとまた違った面白さを感じました。大変なことはたくさんありましたが、振り返るとどれも楽しかった、楽しくてここまで来た、というのが本音です。

◆作っているものに自信を持つ

腕時計はファッション用品と工業製品の二つの側面を持つ、独特なアイテム。そして身近なものだからこそ、アイデンティティの表現にもなります。製造者の思いやこだわりの詰まった商品を宣伝・広報として伝えていく上で、自分が商品に自信を持っていると、それが自然と伝わるように思います。形のあるものを媒介することが自分には合っていたのかな、とも思っています。

◆ポジティブでいることが大事

楽しそうに仕事をしている人には、上司はいろいろアドバイスしたり新しい挑戦を

Message

どんなときにも最後は「人」



学生記者が先輩にインタビュー
OG INTERVIEW vol.34

セイコーウォッチ株式会社
取締役執行役員
マーケティング統括本部 副本部長 広報宣伝部長

庭崎 紀代子 さん
Niwasaki Kiyoko

プロフィール

附属高等学校から本学に学び、1986(昭和61)年3月史学科卒業。同年4月、株式会社服部セイコーに入社、宝飾部門に配属。2001(平成13)年ウォッチ部門へ異動。2015(平成27)年セイコーウォッチ株式会社マーケティング統括本部 副本部長 広報宣伝部長となり、国内だけでなく、ブランドの価値を守りながら各国の状況を鑑み、積極的な海外進出と展開を進める。同年、取締役執行役員となる。現在、株式会社和光の取締役も兼ねる。

させたりしたくなります。ですから、楽しそうにしていればいい仕事が回ってくるよ、と若い部下にも話しています。自身も周りの人々には恵まれ、新たなチャレンジをする機会や、自分のアイデアを具体化するような仕事をいただき楽しかったと感じ

ています。元気ではつつつとしてポジティブでいることがとても重要で、自分が楽しくないと扱っている商品の良さも人には伝わりません。最後は人の力だなと思います。

インタビューを終えて

女性の役員として何か特別な思いがあるのではないかと、思っていました。庭崎さんの仕事を支えていたのはもっと純粋な「楽しい」という気持ちであったことに驚きました。そのような庭崎さんの温かさが、周りの人も引き寄せているのだろうと感じます。前向きで好奇心に富み、バイタリティにあふれる姿勢を私も学んでいきたいです。

取材・文・学生記者
文学部日本文学科 4年
石井 瑠璃



芦屋のジュエリー工房 ギメルのクレドールのコラボレーションウォッチ。ギメルのものづくりのこだわりとプライドに、感銘を受けたそうです



石井記者愛用の腕時計はセイコーウォッチ社のブランド。「そのベルトのデザインはよく覚えていたわ」と語る庭崎さん